

# Analysis of esophagogastric cancer patients enrolled in the National Cancer Institute Cancer Therapy Evaluation Program sponsored phase 1 trials

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2018-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 坂東, 英明 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002198">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002198</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2003 号

Analysis of esophagogastric cancer patients enrolled in the National Cancer Institute Cancer Therapy Evaluation Program sponsored phase 1 trials

(米国 National Cancer Institute Cancer Therapy Evaluation Program がスポンサーとして行った第 I 相試験における食道・胃癌症例の解析)

坂東 英明 (ばんどう ひであき)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、2001 年から 2013 年までの間に米国国立がん研究所(NCI)で行われた第 I 相試験に参加した食道がん、胃がん患者 (115 例) を対象として、LDH, Albumin, 転移臓器数からなる Royal Marsden Hospital (RMH) prognostic score が、患者の予後予測に有効であるかを検証した論文である。

これまでに固形がんの予後予測因子として RMH score は有用であることが報告されているが、食道癌・胃癌での有効性は不明であった。本論文において食道癌・胃癌でも RMH score は予後予測において有効な指標であることを示した。本論文の結果より、有害事象を観察する第 I 相試験において、RMH score が不良な転移性食道癌・胃癌症例は適切な対象とは言えず、慎重に対象症例を選ぶ必要があることが示されたものと考察される。食道癌・胃癌に見られる日本人と欧米人との間の人種差の問題もあるため日本人のデータの解析結果も必要とも考えられるが、がん種を越えて RMH スコアの有用性を示した意義は大きい。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。